

# 館報 はた



令和5年11月1日現在

世帯数	6,401戸
人口	15,371人
男	7,463人
女	7,908人

## 1区 子ども防災教室 & お楽しみ会

1区では恒例の子ども防災教室が、PTA、子ども会育成会との共催で行われました。夏の子どもお楽しみ会の会場をお借りして、今回は発電機による照明器具の点灯デモンストラーションと東日本大震災の写真パネル展示を行いました。

小学生にとっては、東日本



大震災は、全く知らない出来事です。写真から震災の悲惨さや、被災者同士、ボランティアの助け合いの大切さ等、少しでも感じてもらえればと思いました。

お楽しみ会では、ニュースポーツであるラダーゲッター(ひものついでているボールを投げ、横棒に巻き付ける)、開運お手玉ボード(お手玉を投



ハンドベル



開運お手玉ボード



ラダーゲッター

げ、得点板に乗せる)、ハンドベル等のゲームに夢中で、何度も繰り返し、笑顔いっぱいでした。

スイカを食べ、防災グッズや花火、お菓子の入ったお土産を貰い、「面白かった!」「楽しかった!」と満足げに帰路につきました。

## 波田の歴史探訪 城跡を訪ねて



波田の歴史を調べるうちに、城跡が存在するのを知り、訪ねることにしました。

波田駅を出発し波多神社に向かう途中に、まず淡路城址があります。現在は石碑のみと思われ、慶長12年(1614年)築城と刻まれています。江戸時代に野麦街道を見張る役割を果たしたようです。

さらに西に進むと榎木城跡があります。別名西光寺城跡と呼ばれ、後述する波田(多)山城の内城であり、周辺には家臣の屋敷や鍛冶番匠(大工)などの諸職人が集まり中世の城下町を形成していたようです。現在は農耕地等になっており、案内板には当時の地形図が記されておりあります。

最終目的地の波田(多)山城跡に向かう前に、波多神社と仁王門・阿弥陀堂に立ち寄りしました。4年ぶりに仁王尊股くぐり祭りを開催することので、また以前の賑わいを取り戻せればと願いました。

ひと息ついた後、歩を先に進めることにしました。ここから先は、若澤寺跡を目指して進みます。目的地までは何箇所か案内看板があり歴史の



遊歩道若澤寺跡へと書かれた案内もありました。

しばらく林道を進み、右側を流れている沢のせせらぎを聞きながら山道を登って行くと、波田(多)山城跡の説明板と城跡へ続く木の階段があり、そこを登って行くと、ついに目的地に到着しました。

波田(多)山城は「詰城」として建てられ、後世の城郭のような壮麗な天守や、瓦屋根に白壁等はなく、粗末な板張りの山小屋に、萱ぶきか松皮ぶきの屋根で、丸太の物見やぐら、城門、矢倉、板塀、木柵などが施され、空堀の土を掻き揚げた城郭であったようです。今はその痕跡もなく、標柱が立てられており、他に祠、井戸跡などがあるだけです。ハイキングとして訪ねてはいかがでしょうか。

### 恋人の丘 ウォーキング



きっかけは歩いていて目に留まった「恋人の丘ウォーキング」の看板でした。

今まで自分の家の周辺を時々歩く程度の私にとつては、とても新鮮に思えました。以前からウォーキングは、有酸素運動として知られ、体脂肪燃焼による健康増進につながることはわかっています。ですが、なかなか続きませんでした。日が経つにつれ秋も深まり、過ごしやすいつ時期となり、夏の疲れもやつととれ、食欲が増し、生活習慣を変えるには最適と考え、コースを歩いてみたい気持ちになりました。

早速、松本市波田商工会に出かけ、「恋人の丘ウォーキングマップ」をいただきました。コースは「ロング」、「ミドル」、「ショート」がありましたが、所要時間と距離を優先に選択し、ショートコース(所要時間1時間、約4.9km)を歩いてみることにしました。恋人の丘サラダマーケットをスタートし、ローソンまでは下り坂なので、自然に足が進みました。その後は諏訪神社を過ぎ、次のポイントまで

は平坦な道、そこから盛泉寺、夫婦堤あたりまでは上り坂が続き、盛泉寺や夫婦堤は桜の時期は最高だろうなあと思いました。

コースも最後に近づく、見晴らしがよく、松本平を一望できる絶景ポイントもありました。そしてゴールの恋人の丘サラダマーケット。ここは、四季折々の旬な野菜・果物等の直売所で、ジャムやパン等自家製加工食品の取り扱ひもしていました。

今回ショートコースを歩いてみて、アップダウンの負荷はありましたが、自然豊かなコースを楽しくウォーキングできました。ウォーキングをお考えの方におすすめてです。



松本平の風景

### 特殊詐欺について



#### 1 新名称特殊詐欺は、「電話でお金詐欺」に改名

特殊詐欺のほとんどが電話を使用して金銭を要求する手口であることから、名称自体からの啓発効果を考慮して、改名に至ったものです。

#### 2 警戒すべき3つの手口

電話が来て、「あなたのカードが不正に使われている」や、「カードが古くなっているから交換する」という電話が来たらキャッシュカード詐欺。カードを受け取りに来た人から、「カード保護のため封印する」等と印鑑を取りに行かせその間にカードをすり替える手口です。

#### 【対処方法】

キャッシュカードは、絶対に触らせない、渡さない。

#### ・オレオレ詐欺

息子や孫などを名乗る者から、電話でトラブル解決のためお金を要求されたら、オレオレ詐欺。

会社のお金を使い込んだとか、会社のお金を落としたなどと「身内の一大事」に客観

的な判断が鈍っているところをつけ込む手口です。

すぐにお金を用意しない。送らない。渡さない。振り込まない。

#### 【対処方法】

#### ・還付金詐欺

市町村など、公的機関の職員を名乗る者に、電話で税金や医療費の還付手続きを口実に、ATMの操作を求められたら、還付金詐欺。

携帯電話で通話しながらATMへ誘導し、操作方法をその場で教え、「還付」ではなく、逆にお金を振り込ませる手口です。

#### 【対処方法】

いわれるがままにATMを操作しない。

#### 3 被害防止対策

- ・留守番電話に設定し、犯人からの電話に出ない。
- ・暗証番号は聞かれても絶対に教えない。
- ・キャッシュカードや通帳は、絶対に渡さない。
- ・必ず家族や警察に相談し、一人で決めない。



松本警察署キャラクター かもし課長



私は波田地区に移り住み5年が経ちました。河岸段丘の一番下の段である押出面に位置するこの場所は、田園風景が広がり、山からの扇状地形が見渡せ、四季折々の表情に変わる景色に魅了されました。近くの県道「波田北大妻豊科線」の通りは景色を堪能でき、散歩や、ジョギングにとってもおすすめてです。

自身の居住地の災害リスクを調べてみると、浸水想定区域に指定されていることが確認でき、災害が起こらないでほしいと願いつつも、非常時の準備を怠らずに安心して生活を送り続けたいと思います。

時の移ろいにもまして、年々世帯数が増え続けるこの波田地域は、まさにまほろばと呼ぶにふさわしい場所と言えます。

自治体によるまちづくりの方針として各施設が立地した生活中心機能の維持、充実に寄り居住環境と調和したまちを形成するとなっており、地域住民の協力のもと、より住みやすく安心できるまちに促進することで、一層まほろばのまちになることでしょう。